



OTOMO  
digital-signage system

## コンテンツ作成マニュアル – PowerPoint編 –

デジタルサイネージ OTOMO で放映する、スライドを作成するには、Windows の「PowerPoint」・Mac の「Keynote」を使用するのが最適です。

このマニュアルでは、Microsoft の「PowerPoint」を使用し、データを OTOMO 用に書き出す方法を記載しています。

### ●このマニュアルで登場するソフトウェア



#### Power Point

「パワポ」の愛称で親しまれている PowerPoint (パワーポイント) は Microsoft のプレゼンテーションソフトで、プレゼンテーションの準備から本番までをトータルにサポートします。PowerPoint を使うと、文字や写真、グラフなどが入った見栄えのするスライドを簡単に作成できます。



#### PlaylistManager

OTOMO ご契約時にお客様の Windows PC にインストールさせて頂いているソフトウェアです。iMovie から書き出したデータを、最終的にこのソフトから OTOMO へ送信します。

## 1-1:Power Poinを開く。

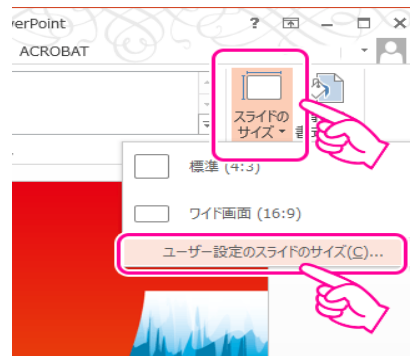
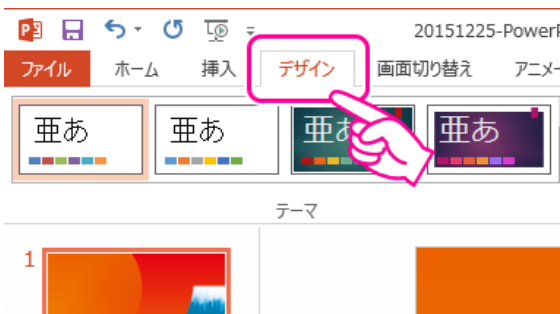
PowerPoin を開きます。



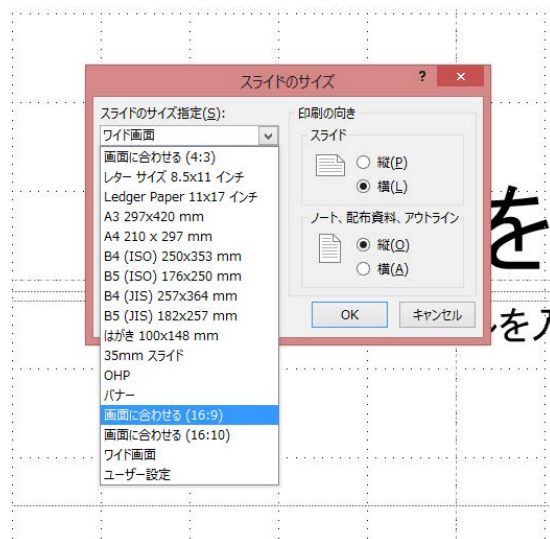
## 1-2: スライドサイズを設定する。

新規→新しいプレゼンテーションを選びます。

デザイン→スライドサイズ→  
ユーザー設定のスライドサイズ  
と選びます。



次に、画面に合わせる(16:9)を選んでください。

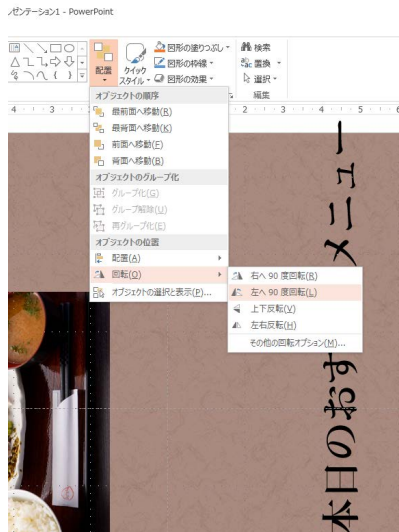
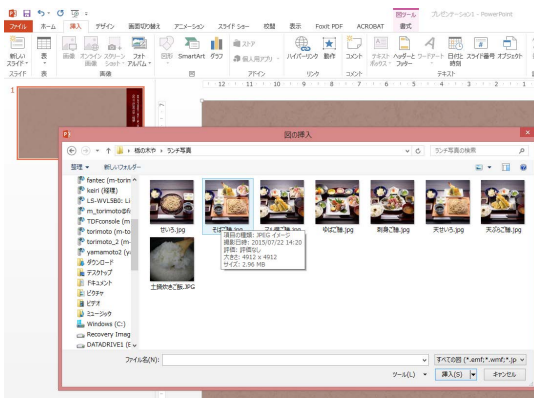
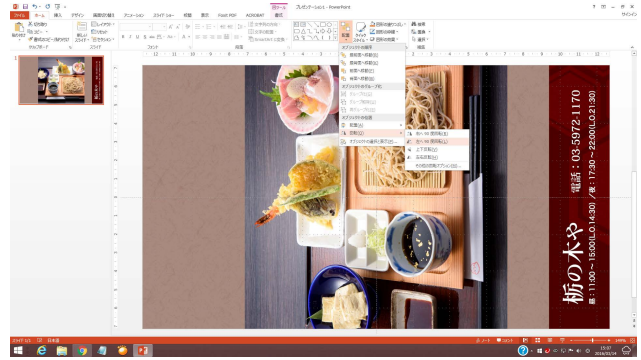


### 1-3: コンテンツを作成する。

実際にコンテンツの作成を行います。

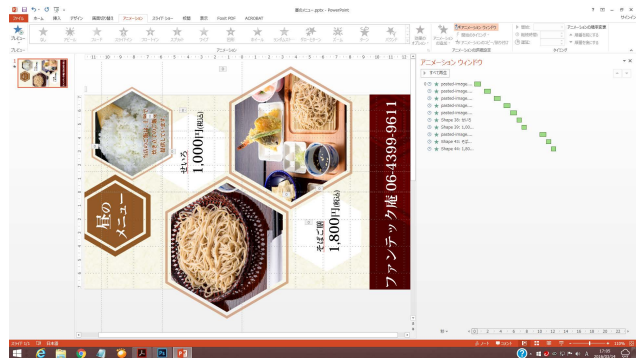
jpeg などの画像ファイルやテキストを挿入して好きなレイアウトで作りください

※タテ向きの表示をされる場合は写真、テキストなどを左に90度回転させてご使用ください。

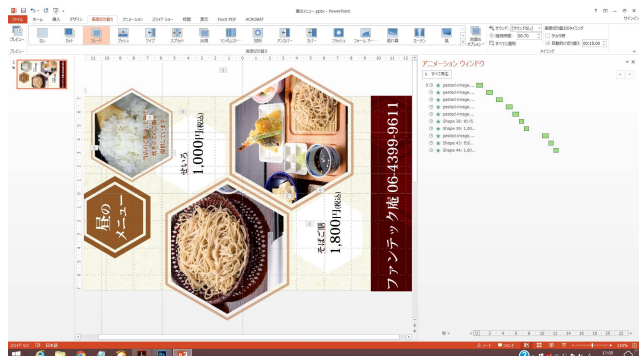


### アニメーション作成画面

色々なアニメーション効果を付けて動画を作成する事も可能です。アニメーションの作成について、詳しくはWeb又は書籍などでお調べ下さい。



### 画面切り替え操作画面



## 2-1 コンテンツを書き出す

ファイルの書き出しについて説明します。

### 動画を作る場合(mp4)

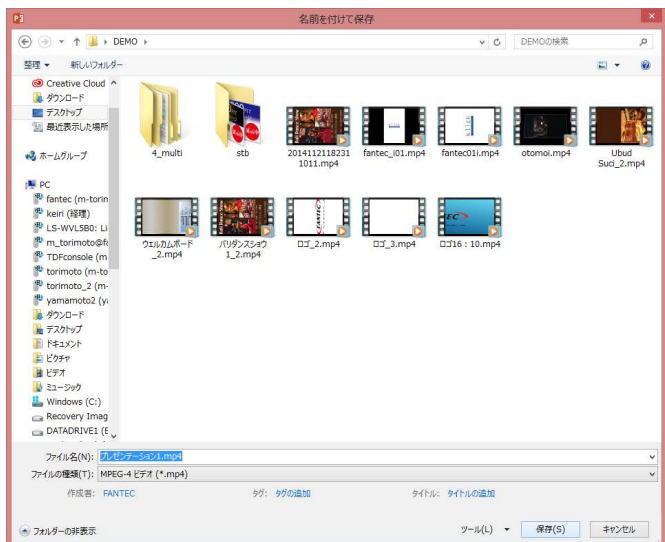
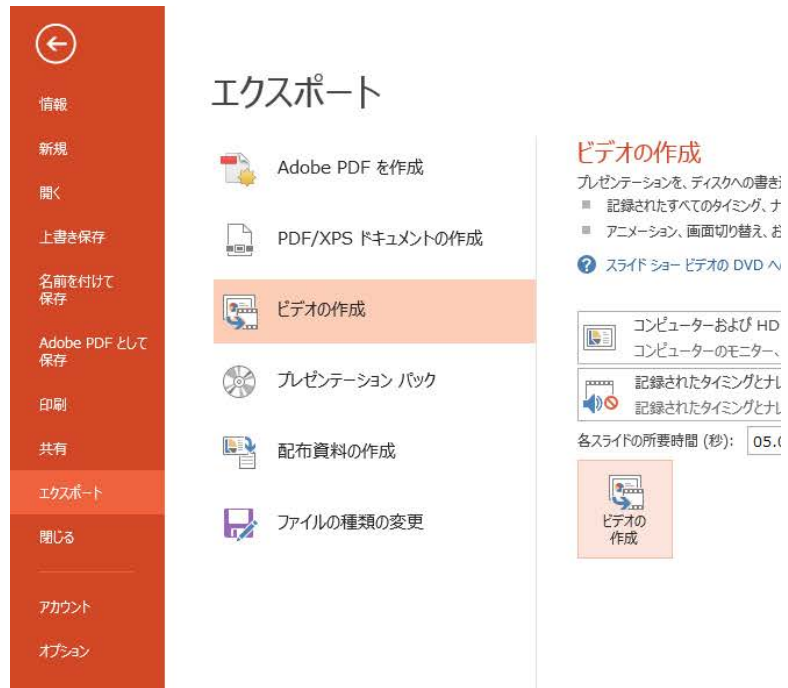
ファイル→エクスポート→ビデオの作成  
→コンピューター及びHDモニター→  
記録されたタイミングとナレーションを使用する→  
ビデオの作成で、OTOM用mp4動画が書き出せます。

※power point 2010ではwmv動画しか書き出せ  
ません、動画変換ソフトなどでmp4に変換して下さい

### 静止画を作る場合(jpg)

ファイル→エクスポート→ファイル種類の変更  
→JPEGファイル変換形式(\*.jpg)→別のファイル形式  
として保存で、OTOMO用jpg画像が書き出せま  
す。

希望のフォルダーなどに保存して下さい。

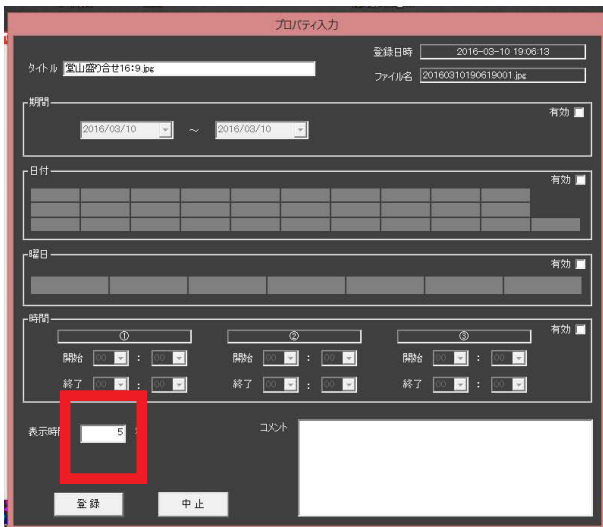
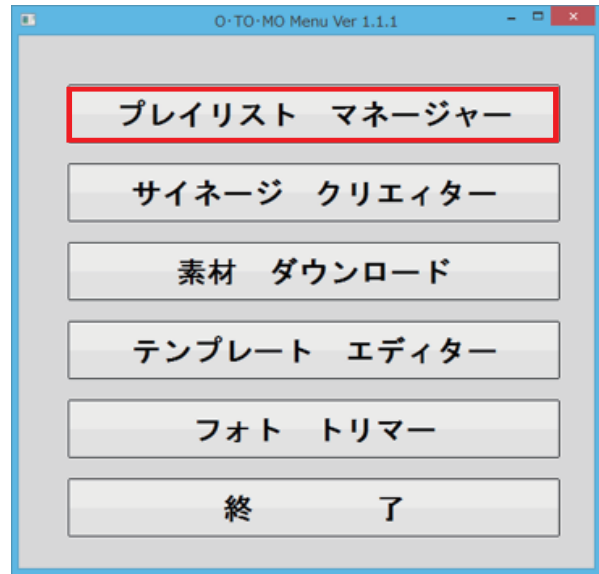


### 3-1: データを OTOMO に読み込ませます。

書き出したファイル「○○○.mp4」を WindowsPC の OTOMO プレイリストマネージャーで読み込み、OTOMO に送信して終了です。

プレイリストマネージャーの詳しい操作方法は、OTOMO の WEB サイト、ダウンロードページより「デジタルサイネージ「OTOMO」 クイックリファレンス」をダウンロードしてください。

<http://www.o-to-mo.com/download.php>



※動画を転送される時は対象画像をダブルクリックしてプロパティ入力画面で表示時間を必ず5秒に変更してから送信ボタンを押してください。

